

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表： 令和 年 月 日

事業所名 ジムズステップ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			十分なスペースが確保できている。
	2	職員の配置数は適切である	○			利用者のニーズに対応できる体制にしています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			一階にある為、段差もなく適切になされている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			職員全員でミーティングを行っています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			アンケート結果から話し合いを行う。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		Instagramも行って います。	ホームページで公開
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		機会があれば実施していきたいと思います。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		社内での勉強会の実施	外部研修に行った際は参加職員が必ず現場に 伝えて います。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			保護者との面談を行い、日々の様子を踏まえながら 計画書を作成しています。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			アセスメントシートや個別支援計画作成シートを使用 しています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			ミーティングを開催し話し合いをしています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			療育内容が偏らないように話し合いを行っています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			学校休業日等は外出先での時間が長い為、課題を 設けている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している		○		集団活動がメインになっているので今後、検討し ます。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			職員全員でよりよい支援が行える様に毎朝、打ち 合わせを行っています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			一日の業務終了後、本日の振り返りを行い職員 間で 共有しています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			一日の業務終了後に記録を行っている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			保護者とのコミュニケーションを図り、モニタリン グを 行っています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○			ガイドラインに沿って行っている。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			今後も参加していく予定です。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○			送迎時などに学校での様子を聞き、情報を共有しています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		ケアが必要な児童がいないが、今後必要であれば検討していく。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○		今後、施設との情報共有をしていく
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○		高等部3年の児童がいない。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			研修会等に積極的に参加する。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○			公園等の外の施設へ出かけ、様々な児童と関わりを増やしていく
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○			研修会等に積極的に参加していく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			送迎時などに事業所での様子を伝えたり、家庭、学校での様子を聞き情報を共有しています。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○		今後検討する。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			契約時に契約事項・重要事項の説明を行っている
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			保護者様からの相談を聞き、その場で助言できる体制を整える
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		今後検討する。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			ご意見等を頂いた際は職員全員が周知し、対応する。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			活動内容は事前に配布し、日々の様子はノートやLINEで伝えています。
	35	個人情報に十分注意している	○			個人情報等は鍵付きの棚に保管している。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			研修などに参加し知識を深めていく
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		今後検討する。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			避難訓練を行い、緊急時に備えた対策を実施。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			半年に1回行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			虐待防止等の資料を設置し、職員全体で周知している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			身体拘束についての説明をし、同意書を頂いている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			契約時にアレルギー等の同意書を頂く等の対応をしている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			いつでも記入できるよう目に付くところにおき、職員に情報を周知できるようにまとめている。